

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	専門相談事務					
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係	課長名	五十嵐 孝雄

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行 - 3	-
【施策名】 市民自治の向上	総合計画書 (ページ)	127	

予算名	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 3 広報費	事業 2 広聴活動事業
-----	---------	-----------	---------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民全体	→ 市内総人口(平成30年4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
この仕事の目的	悩み事がある場合に希望すれば、無償で専門的な知識を有する者の指導や助言が受けられる。	→ 相談受付件数/相談応募者数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	無料専門相談を実施した。 ・法律相談(弁護士) ・人権身の上悩みごと相談(人権擁護委員) ・税務相談(税理士) ・登記相談(司法書士) ・行政苦情相談(行政相談委員) ・交通事故相談(弁護士) ・不動産取引相談(不動産取引士) ・行政手続相談(行政書士)	無料専門相談受付総件数(135回/年) ・法律相談(50回/年) ・人権身の上悩みごと相談(13回/年) ・税務相談(12回/年) ・登記相談(12回/年) ・行政苦情相談(12回/年) ・交通事故相談(12回/年) ・不動産取引相談(12回/年) ・行政手続相談(12回/年)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	
	目 標	②の目標値	%			100	100
		目標値設定の考え方	悩みを持っている市民に、漏れなく相談の機会を与える。				
	活動指標	③の数値	件	137	135	135	

3 経費	事業費(実績)		円	1,856,195	1,779,278	1,830,702	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,856,195	1,779,278	1,830,702	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
事業費+人件費		円	4,336,295	4,255,178	4,303,902		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	・法律相談、税務相談、登記相談、交通事故相談は、昭和47年度から開始。 ・不動産取引相談は、平成12年度から開始。 ・行政手続相談は、平成19年度から開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	現在の社会情勢は、相談内容も複雑多岐にわたり、悩みを抱える相談者が増加している。	

仕 事 の 内 容	専門相談事務					
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係	課長名	五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	特になし。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
		⑥(市報、市の公式ホームページ)、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他（)
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
現在の社会情勢は、相談内容も複雑多岐にわたり、悩みを抱えている相談者が多いことから、まずは、相談者の悩み事を十分聴き、あらゆる角度からの情報提供や相談の場の提供を今後も続けていく。		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	相談枠については、弁護士会の電話相談や行政書士会の無料相談を紹介する対応により、現状では拡大する必要は生じていないが、今後、急激に相談が増えるようなことがあった際は、必要に応じ、検討していく。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
相談者が多い専門相談（法律相談、行政手続相談等）については、「弁護士会多摩支部電話相談」、「多摩パブリック」、「行政書士会立川支部」等の無料相談場所を紹介し、対応した。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
引き続き状況把握に努め、急激に相談が増えるようなことがあった際は、必要に応じ、検討していく。	

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	専門相談（法律相談、行政手続相談等）については、引き続き、現在の運用のとおり「弁護士会多摩支部電話相談」、「多摩パブリック」、「行政書士会立川支部」等の無料相談場所を紹介し、対応していく。また、今後、急激に相談が増えるようなことがあった際は、必要に応じ、検討していく。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
<ul style="list-style-type: none"> ・法律相談については、弁護士に報酬を支払っているため、相談枠を広げるためには、予算計上が必要となり、開催日の調整も必要となる。 ・行政手続相談については、無報酬で実施しているが、相談枠を広げるためには、派遣元である、行政書士会立川支部と行政書士の派遣者数の調整が必要となり、開催日の調整も必要となる。 	
(3)改革・改善案による期待成果	
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------